

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 14 日

Table with columns for 事務事業名 (Project Name), 事業区分 (Project Category), 担当 (Responsible Party), 政策体系 (Policy Framework), 予算科目 (Budget Item), and 法令根拠 (Legal Basis). It details the '後期高齢者保険料収納事務' (Late Elderly Insurance Premium Collection Business).

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (Overview of the Business) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (Tasks, Methods, and Procedures). It describes the implementation of the '後期高齢者医療制度' (Late Elderly Medical System) starting from April 1, 2020.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table showing performance indicators (KPIs) for the project. It includes columns for ①手段 (Methods), ②対象 (Targets), ③意図 (Intentions), and ④-⑥各指標 (Various Indicators) with data for 28th, 29th, and 30th years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing the trend of input volume (business expenses). It lists various cost categories like '国庫支出金' (National Treasury Expenditure) and '人件費' (Personnel Expenses) across the years.

Table showing the internal breakdown of business expenses (事業費の内訳). It compares actual expenses for 29th and 30th years with budgeted expenses for 30th and 31st years.

(4) 当該年度の実施内容

Table detailing the implementation content for the current year and subsequent years (30th, 31st, and 32nd years). It includes a list of main activities like '市長マニフェスト' (Mayor's Manifesto) and '合併建設計画事業' (Municipal Merger Construction Plan).

事務事業名	後期高齢者保険料収納事務	事務事業No.	10701000384	所属課	国保年金課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

医療制度改革の一環として、平成18年後期高齢者医療制度が制定され、平成20年4月1日から開始された。開始当初に拡大された軽減措置が現在も継続中であり、被保険者にとっては納付しやすい状況にあると思われる。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

一定以上の年金を受給しているが、制度上、特別徴収(年金天引き)できない被保険者から特別徴収してほしいとの要望が寄せられている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	後期高齢者医療制度の健全な運営に必要である
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	法律に基づくものであり、妥当である
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	後期高齢者医療保険料の徴収方法は、特別徴収(年金天引き)が大部分であり、常に一定水準の徴収率を保っている。未納者の生活状況を考慮すると、現状に比した成果の向上はかなり困難と思われる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	法律に基づくものであるため、廃止・休止はできない
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	統廃合の余地なし
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	口座振替手数料やコンビニ収納代行手数料は、収納率向上に不可欠のものであり、電算システムも連携する業務との関係を考慮した場合、現行の状態が最も合理的であり削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	法律に基づく制度であることから、公平・公正である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	後期高齢者医療保険料の収納率は、例年98%超の水準を維持してきたが、平成28年度についてもこの水準を維持するとともに、納期内納付率を向上させるため、口座振替の推進を行った。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>